

2022年 4月 28日

2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 みなさんの居場所「ぼくはぼく」

代表者・役職名 氏名 松並 朱

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

みなさんの居場所「ぼくはぼく」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2021秋 障がいのある方、ない方が触れ合える場づくりの必要性に賛同した地域の福祉・保育・障がい関係者・保護者で設立。

2022夏 みなさんの居場所「ぼくはぼく」コミュニティカフェをオープン。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

差別や優生思想を払拭させたい。

現在、施設、病院、家庭、学校、保育園幼稚園などにおいて虐待、差別がおきている。その原因は閉鎖的な空間や無知がそれを引き起こしていると考え。そのために「一緒に居られる場」をつくる。共生社会の実現を。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・商店街の既存カフェを借り、金土日曜日の17時半～20時半営業。
- ・数種類の飲食メニューを揃える。
- ・そのほか寄付食材をアレンジして「投げ銭メニュー」とし提供、ご寄付をいただく。
- ・近隣演奏家などが演奏。
- ・悩み相談、情報提供、専門機関につなげるなども実施。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ・決算書より(2022.1～2023.3) 純利益約170万円 $1700000 \div @500円 = 3500人$ 延べ3500人の利用者数
- ・各関係者(障がい者保護者、障がい者・高齢者・子ども・その他の地域活動関係者、地域の音楽家)の来店が増えた。
- ・常連になってくださり、悩み事をポツポツと話して下さる方々が増えた。
- ・悩んでらっしゃる方にはこちらからのアドバイスなどは控え、自身の変化が見受けられた。
- ・来店時に共通の課題をもってらっしゃる方同士のつながりを、その場でつくり、共有共感できる場面が増えた。各自の人脈もつながっていく。
- ・地域の社会課題の会議等で「ぼくはぼく」が話題にあがっている、と情報あり。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

- ・対象者の経済的背景において、値段設定は低く抑えているためと、稼働時間が少ないため、収益が低い。
- ・運営費の捻出が一番の課題。
- ・3月、知人からの声かけで店舗移転し事業拡大の方向となる。一日中、開店できることにより、ご来店できる方が増える。収益が増え、運営費等、潤沢になることを目標とする。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



